

報道関係 各位

2014年8月27日
大塚国際美術館

子どもから大人まで楽しめる謎解き!美術鑑賞
大塚国際美術館「ミュージアムミステリーツアー」

青の事件簿

ゴッホの幻の絵画に秘められた謎とは・・・



2014年10月から2015年3月

大塚国際美術館（館長：大塚一郎、所在地：徳島県鳴門市）では、10月より美術鑑賞 + 謎解きがセットになった参加型推理イベント『ミュージアムミステリーツアー「青の事件簿」』を開催します。

本企画は、かつて兵庫県芦屋市にあったゴッホの幻の「ヒマワリ」（通称“芦屋のヒマワリ”）をテーマにした架空のストーリーのもと、大塚国際美術館を舞台に絵画をめくりながら謎を解き明かす参加型ツアーです。ロイヤルブルーの背景が印象的なこの作品は、残念ながら1945年の第二次世界大戦により焼失してしまいましたが、このたび当館では原寸大の陶板で再現するプロジェクトを進めており、10月1日より追加展示をいたします。



「ヒマワリ」1945年焼失
（武者小路 実篤記念館蔵
「セザンヌゴッホ画集」より）

「ゴッホの幻の絵画に秘められた謎とは・・・」

参加者は美術館の学芸員により、消えたゴッホの絵画を見つけ出すべく集められた「絵画鑑定士」として、捜査資料をもとに謎を解く鍵となる館内の作品を自由にめぐります。絵画にまつわる知識を深めながら、仕掛けられた鏡文字やシンボルなどさまざまな暗号を解読し、事件を真相へと導くミステリー仕立てのツアーです。（物語はフィクションです。）



「ミュージアムミステリー」イメージ画像
この画像にも謎を解くヒントがある

世界の名画を原寸大で一堂に展示し、さらに鑑賞制限なく作品を間近で見ることができる当館の醍醐味を存分に生かした本企画は、これまでの数多くのギャラリートークを開催した経験を活かし、当館のスタッフが考案しました。子どもから大人まで幅広い年齢層の方、絵画鑑賞が初めての方にもお楽しみいただける内容です。



物語の重要なキーポイントとなる
環境展示「スクロヴェーニ礼拝堂」

謎解きという体験を通じて知る絵画の世界。アートを楽しく観る・知る・学ぶきっかけとなり、絵画を鑑賞するだけにとどまらない「アートの感動と記憶」をお持ち帰りいただければと願っています。

【ミュージアムミステリーツアー概要】

- 開催日 2014年10月から2015年3月までの土曜・日曜日
※12/20・21 およびシスティーナ歌舞伎公演日（2月）を除く
 - 開始時間 12:30
 - 所要時間 約1時間15分
 - 定員 30名（事前予約可）
 - 参加費 無料（要入館料）
 - 集合場所 地下2階 ルネサンスホール
 - タイムスケジュール
 - 12:30 ~ 12:40 事件の概要説明
 - 12:40 ~ 13:30 手渡された捜査資料をもとに、各自絵画を鑑賞しながら謎解き
 - 13:30 ~ 13:45 真相解明のため再集合し、事件解決へ
- ※イベント前後は館内をご自由に鑑賞いただけます

■ストーリー 紹介

——ゴッホの手紙の一部が発見された。そこにはカタログ・レゾネ（作品目録）にない絵のスケッチが描かれており、美術界に衝撃が走った。夜空を描いたスケッチには大きな渦を巻く5つの星と月がある。どこにも存在した証がない作品だ。いったいゴッホの作品はどこに消えたのか。その作品はゴッホの手紙の言葉から「5つの星月夜」と呼ばれ、世界中が作品を探すのに躍起になっていた。

徳島県でこの発見に興味深くみている人物がいた。数年前に曾祖父を亡くした大塚国際美術館の学芸員 日向 葵。武者大路 実次に師事していた曾祖父が残した日記に、その作品を思い起こさせるような言葉があった。

日向はこの曾祖父の言葉を信じ、絵画鑑定士を集めて作品を探すことにした…。

※この物語はフィクションです

■登場人物 紹介

日向 葵（ひゅうが あおい）

大塚国際美術館の学芸員。偶然本棚から曾祖父の日記を見つけ、絵画鑑定士の力を借りて「5つの星月夜」を探そうとしている。

日向 勝利（ひゅうが かつとし）

葵の曾祖父。武者大路実次に師事していた。発見されたゴッホの手紙にある「5つの星月夜」を実際に見たことがあると日記に記している。

武者大路 実次（むしゃおおじ さねつぐ）

ゴッホに造詣の深い大小説家。実際にゴッホやセザンヌの作品を収集し、画家に関する詩を残している。

郷木 杏（ごうぎ あん）

元 大塚国際美術館の学芸員。新しい美術館建設の為タヒチに旅立った。葵から話を聞き捜査資料の作成を手伝った。葵をライバル視していたようだが…。

〈 参考 〉

ゴッホの幻の「ヒマワリ」とは

1920年に大阪の実業家山本願^{こやた}弥^{むしや}太^{こうじ}氏^{あつ}が、武者小路^{むしやこうじ}実^{さね}篤^{あつ}氏^{あつ}ら白樺派に頼まれ、ゴッホの「ヒマワリ」を当時金2万円（現在の2億円）で買い上げ、日本に招来された作品。兵庫県芦屋市の山本氏の邸宅にあったが、1945年8月6日に第二次世界大戦の阪神大空襲により焼失してしまいました。

大塚国際美術館ではこの「ヒマワリ」を当時出版された画集より、原寸大の陶板作品として再現し、2014年10月1日（水）より追加常設展示します。



「ヒマワリ」を背景に撮影した山本氏（左）と武者小路氏（右）
（武者小路実篤記念館蔵）

◇◇ 大塚国際美術館とは ◇◇

古代壁画から世界25ヶ国190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に再現しています。約4kmに及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。



システィーナ・ホール

【住 所】徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

【T E L】088-687-3737 【F A X】088-687-1117

【U R L】<http://www.o-museum.or.jp/>

【開館時間】9時30分から17時（入館は16時まで）

【休 館 日】月曜日（祝日の場合は翌日）/8月無休

連続休館 2015年1月5日～9日/2月は歌舞伎公演による休館有

【入 館 料】小中高生 540円 / 大学生 2,160円 / 一 般 3,240円 *20名以上の団体は10%割引

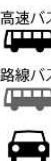
【アクセス】

関東から



羽田空港～徳島阿波おどり空港 約1時間
→路線バス「徳島空港」バス停より 約30分
東京・品川・新横浜より新神戸 約3時間
新神戸にて高速バス乗り換え

関西から



高速バス 大阪/神戸など～「高速鳴門」2時間10分/1時間35分
→路線バス「小鳴門橋」バス停より 約15分
路線バス JR徳島駅より約60分、JR鳴門駅より約15分
※いずれも「大塚国際美術館前」下車
神戸淡路鳴門自動車道 鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行



《本件に関するお問い合わせ先》 大塚国際美術館 学芸部広報担当 土橋加奈子、山側千紘
T E L : 088-687-3737 F A X : 088-687-1117 e - m a i l : info@o-museum.or.jp

※画像は大塚国際美術館の作品を撮影したものです